I·O DATA

B-MANU200210-02
M-MANU200151-02

DVR-UN16D

はじめに お読みください

本紙では「DVR-UN16D」（以下、本製品と呼びます。）をご使用いただく際のご注意、動作環境、製品の仕様について説明しています。本製品のセットアップについては、本紙をお読みになったあと、別紙「セットアップガイド」をご覧ください。

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
4) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
5) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
6) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
7) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
8) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。 (This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
11) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

＜例＞「発火注意」を表す絵表示

＜例＞「分解禁止」を表す絵表示

＜例＞「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守
本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

電源プラグを抜く
煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

分解禁止
本製品を修理・改造・分解しないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意
本製品を取り付ける場合は、必ず別紙「セットアップガイド」で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
●接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守
本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず別紙「セットアップガイド」で取り付け/取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因になります。

禁止
本体を濡らさないでください。
火災・感電の原因になります。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止
内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。

厳守 感電注意 発火注意
ACアダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。
火災・感電の原因になります。
●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
●添付ACアダプタは本製品専用であり、他の機器に取り付けないでください。
●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
●ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。
●ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。本製品に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。

⚠ 注意

注意
本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止
本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
《使用時/保管時の制限》
●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所 ●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所 ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど） ●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など） ●水気の多い場所（台所、浴室など） ●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど） ●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》
●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止
本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

禁止
アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止
本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

厳守
メディアの取り扱いについては以下をお守りください。
●メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
●ひびの入ったメディアや反ってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
●メディアに異物（CD-Rメディアの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

禁止
レンズには触れないでください。
音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0※2(USB 1.1※3)ポートを搭載したDOS/Vマシン (弊社製USBインターフェイスを装備したパソコンを含む)
対応OS(日本語版)	Windows XP※4、2000 Professional、Me
搭載CPU※5	■データ保存時……………………PentiumIII 450MHz以上 ■ビデオ編集・DVD鑑賞時……PentiumIII 800MHz以上 (リアルタイムレコーディングを行う場合は 1.7GHz以上)
メモリ	256Mバイト 以上(512Mバイト 以上推奨)
ハードディスク※5	空き容量 10Gバイト 以上(20Gバイト 以上推奨)
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	Ulead DVD Playerを使ってCPRM技術で録画されたDVDディスクを再生する場合には、インターネット接続環境が必要です
対応メディア※6	DVD ……DVD+R※7,8、DVD+RW、DVD-R※8,9、DVD-RW、DVD-ROM CD………CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※10	1層 DVD+R	16倍速メディア	TDK、日立マクセル、三菱化学
		8倍速メディア (16倍速書き込み※11)	太陽誘電、TDK
		8倍速メディア	三菱化学、リコー
	2層 DVD+R	2.4倍速メディア (8倍速書き込み※11)	TDK、日立マクセル、三菱化学
		2.4倍速メディア	TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー
	DVD+RW	8倍速メディア	リコー
		4倍速メディア	三菱化学、リコー
	1層 DVD-R	16倍速メディア	太陽誘電、TDK、日立マクセル、三菱化学
		8倍速メディア (16倍速書き込み※11)	日立マクセル、ソニー
		8倍速メディア	太陽誘電、三菱化学
	2層 DVD-R	4倍速メディア (6倍速書き込み※11)	三菱化学
		4倍速メディア	三菱化学
	DVD-RW	6倍速メディア	ビクター、日立マクセル、三菱化学
		4倍速メディア	TDK、ビクター、三菱化学
	CD-R	三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●USB 2.0環境は、パソコン本体にUSB 2.0インターフェイス機能が必要です。本製品のUSB 2.0での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作確認情報は、各インターフェイス製品メーカーにお問い合わせください。
●PCカードタイプのUSB 2.0インターフェイスに接続した場合、環境によってはドライブ最大性能を発揮できない場合があります。
●弊社製USB 2.0インターフェイスをお使いの場合には最新のサポートソフトを当社ホームページよりダウンロードしてお使いください。

※3 ●USB 1.1ポートに装備した場合は、USB 1.1機器として動作します。
●USB 1.1環境で書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVDでは最大0.9倍速、CDでは最大8倍速となります。
●USB 1.1環境でDVDビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音飛びが発生します。
(頻度はビデオタイトルによって異なります。)

※4 「B's CLiP」をご利用になるには、Service Pack 1以降がインストールされた環境が必要です。

※5 1層DVD±Rメディアへ16倍速書き込みを行う場合の推奨環境は、以下の通りです。
■搭載CPU ……………PentiumIII 1GHz以上
■ハードディスク………Ultra ATA/66以上で接続され、DMA転送モードに設定されたハードディスク

※6 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※7 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※8 2層DVD±Rメディアに「B's CLiP」にて書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。

※9 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※10 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※11 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本ドライブでのメディアの倍速を超える高速書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

注意 DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。

注意 左記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

コラム

●本製品のUSB 1.1での読み込み/書き込み速度について

USB 1.1の環境では仕様により、ドライブの最大性能は発揮できません。本書に表記している書き込み/読み込み速度は、本製品のドライブが持つ最大性能です。USB 1.1環境でDVDビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音飛びが発生します。(頻度はビデオタイトルによって異なります。)

●USB 2.0の環境が無い場合

別売の弊社製USB 2.0インターフェイス製品を使用すると、USB 2.0動作が可能となり、より快適に書き込み/読み込み、DVDビデオの再生ができます。
最新情報は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)でご確認ください。

仕 様

ドライブ名	「ND-3540A」(OEM 供給元:日本電気株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0(USB 1.1)
設置条件	設置方向:水平、垂直(垂直は12cmメディアのみ対応)
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載
最大書き込み/読み込み速度	●書き込み:≪1層DVD+R≫16倍速 ≪2層DVD+R≫8倍速 ≪DVD+RW≫8倍速 ≪1層DVD-R≫16倍速 ≪2層DVD-R≫6倍速 ≪DVD-RW≫6倍速 ≪CD-R≫48倍速 ≪CD-RW≫32倍速 ●読み込み:≪1層DVD+R≫16倍速 ≪2層DVD+R≫7倍速 ≪DVD+RW≫13倍速 ≪1層DVD-R≫16倍速 ≪2層DVD-R≫7倍速 ≪DVD-RW≫13倍速 ≪DVD-ROM≫(1層)16倍速、(2層)12倍速 ≪DVD-Video≫(1層)16倍速、(2層)12倍速 ≪CD-R≫48倍速 ≪CD-RW≫40倍速 ≪CD-ROM≫48倍速
平均アクセスタイム	≪DVD-ROM≫160ms ≪CD-ROM≫140ms
適合フォーマット	≪DVD≫ DVD-ROM、DVD-Video、Multi-Session(DVD+R/+RW)、Multi-Border(DVD-R/-RW) ≪CD≫ CD-ROM(Mode1、Mode2)、CD-ROM XA Mode2(form1、form2)、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD

書き込み方法	≪DVD+R/+RW≫ Sequential write、Random write、Disc at Once ≪DVD-R/-RW≫ Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite※ ≪CD-R/RW≫ Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing ※ DVD-RWのみ
電源仕様	AC 100V±10% 50/60Hz
消費電力	18W
定格電流	5V:1.5A 12V:1.0A
動作温度	+5℃～+35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)
動作湿度	20%～80%(結露しないこと)
外形寸法	162(W)×268(D)×50(H)mm (突起部分を除く)
質量	約1.6kg (ACアダプタを除く)

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/

2005.5.19発行